

令和6年度 地域おこし協力隊アドバイザープロフィール

ふりがな	かとう じゅん			
氏名	加藤 潤			
所属・役職	NPO法人 頴娃おこそ会 副代表 / (株)まるのこラボ 代表取締役			
所在地	鹿児島県南九州市頴娃町別府5234-1			
略歴	<p>1992年 青山学院大学経営学部卒</p> <p>2010年 モービル石油(株)、住友林業(株)などを経て、鹿児島県南九州市頴娃町に移住、観光養殖場タツノオトシゴハウスを立ち上げ。NPO法人頴娃おこそ会・観光プロジェクトリーダーとして活動開始</p> <p>2014年 観光まちづくり活動が評価され、頴娃おこそ会が総務省過疎地域自立活性化優良事例表彰 総務大臣賞を受賞</p> <p>2015年 頴娃おこそ会空き家再生プロジェクトリーダーとして空き家再生活動開始(2020年までに10軒を再生)</p> <p>2016年 NPO法人頴娃おこそ会が南九州市と連携し、地域おこし協力隊員を受け入れ。空き家を再生し住居や創業拠点としての提供</p> <p>2020年 コミュニティ大工を名乗り、他地域の空き家再生を支援開始</p> <p>2022年 空き家再生支援を手掛ける(株)まるのこラボを立ち上げ</p>			
地域おこし協力隊に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<ul style="list-style-type: none"> 観光養殖場タツノオトシゴハウスの運営と、市・県と連携した観光地づくり 市営番所鼻公園におけるパークマネジメント導入と民間団体による公園運営の体制づくり 過疎地の商店街の空き家再生と移住者受け入れ・創業支援 空き家再生の仕組みづくりと、他地域の空き家再生支援 DIYとコミュニティの力で空き家再生を手掛ける「コミュニティ大工」を通じたソーシャルビジネス型空き家再生(東京大学、清水建設住総研との連携) 		
	これまでに関与した地域おこし協力隊に関するプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 南九州市と連携したNPO派遣型の地域おこし協力隊制度づくり(市の最初の協力隊運営)と、創業支援(宿、飲食店立ち上げ、フリーランスなど) 市、県と連携した協力隊受入側研修会の開催 地域おこし協力隊サポーターズ鹿児島の立ち上げ 地域おこし協力隊員向けのサブリース型での空き家提供体制構築 協力隊員の参加を伴う空き家再生座学研修会の開催 各地の協力隊員との空き家再生現場型実践研修の開催(鹿児島県出水市、鹿児島市喜入町、出水市、喜界町、熊本県美里町など) 		
助言可能な内容		募集企画の作成・魅力度の向上	○	任期終了後の支援
	○	受入体制づくり・受入の増強		都道府県OB・OGネットワークの推進
		市町村のサポート体制の強化	○	その他(詳細は以下に記載)
		情報発信の強化		<ul style="list-style-type: none"> 隊員住居提供の体制づくり(特に不動産業が機能していない過疎地) 空き家対策を担う隊員、及び空き家対策をミッションとする行政への支援 民間団体による隊員受入の体制づくり
		「地域おこし協力隊インターン」等の活用推進		
自治体へのメッセージ	<p>過疎地に地域団体受入型の協力隊制度の運営や、空き家を活用した住居提供の仕組みづくりに携わってきました。こうした経験がお役に立てば幸いです。</p>			